

どうする？

どうなる？

## 第2回

# 公共施設の将来のあり方 を考える市民対話 ＜琴海地区＞



# ◆対話の進めかた

第1回  
8月17日(土)

- 施設の現状や  
見直しの必要性  
について知る



第2回  
9月28日(土)

- 第1回対話も踏ま  
えた市の考え方の  
説明及び意見交換
- 対話のまとめ



第3回  
12月14日(土)

- 第2回までの対話  
を踏まえて市が  
検討した結果に  
対する意見交換
- 対話のまとめ



地区に住んでいるからこそ  
知っている課題や実態  
などの意見



長崎市

地区別計画の策定

# 本日の流れ

- ◆ 前回の振り返りと、琴海地区の施設の配置の考え方について説明(25分)
- ◆ グループでの話し合い、及び意見のとりまとめ(45分)
- ◆ 発表(35分)
- ◆ 次回お知らせ

# 前回の ふいかえい



# 私たちのまわりで起きている変化



# 私たちのまわりで起きている変化

人口減少



少子化



高齢化  
(長寿化)

ひとり暮らし  
世帯の増加



自然環境  
の変化



## 暮らしやすさを守るには？

人口減少

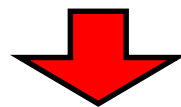


公共施設の  
利用者の減少

なのに

公共施設の  
量の増大

少子高齢化

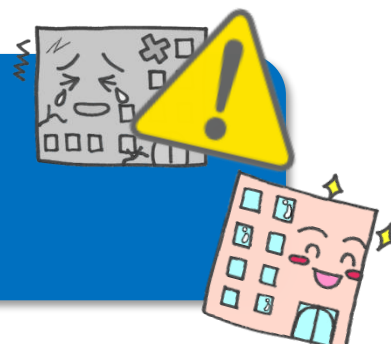
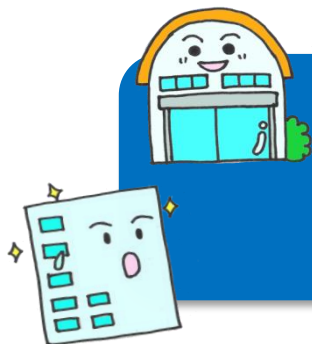


医療・介護など福祉  
にあてる予算の増大

なのに

古くなった公共施設の  
修理に費用がかかる

どうしたらいいのだろう？



# 施設はそのまま維持できるの？

平成27年度から **今後30年間** の  
「**建て替え**」や「**改修**」にかかる費用  
不足額は… **879億円**



このままでは  
**今の施設すべての建替え・修理  
はできません**





# 前回の主なご意見

- あまり使っていない施設でも地域に必要な施設がある。
- 琴海地区は広いので、施設を減らすのであれば、移動手段の確保、駐車スペースの確保が必要。
- 今後子どもの数が減ることが予想されるので、将来の学校のあり方について考えておく必要がある。

施設を見直すこと

~~行政サービスをなくすこと~~



## 2 時代の変化に対応できる公共施設の見直し



### 3 公共施設の上手な見直し方

また、どのように公共施設を見直ししていくかについても、お話ししました。

まず大切なことは…

**施設を見直すことは、行政サービスを無くすことではありません。**

施設の見直しとは、あくまでも施設のあり方や使い方を見直すということです。原に施設が壊れても、そこで行われていた生活に必要なサービスを無くすということではありません。

見直しの手法

見直しには、大きく2つの手法があります。

手法1 施設を選ぶ



〔長崎市理財部資産経営室からのお知らせ〕

## 公共施設の将来のあり方を考える市民対話(琴海地区)

### 第1回 開催報告

ご参加にたいせきさあけいこうございました。

日時 令和元年9月17日(土) 15:00~17:00

場所 琴海文化センター

参加者 地域の皆さん 24人

人口減少や少子高齢化が進む中であつても、暮らしやすいまちであり続けるために、琴海地区にある公共施設はこれからどうあつたら良いのか... 将来に向けた公共施設のあり方を皆さんと一緒に考えていきたいと思ひ、市民対話を開催しました。

この対話では、

- 安全で安心して利用できる施設を初め
- 使いつける施設と将来廃止予定の施設を分けて、使いつける時期に合わせた適切な修理をします。
- 建物が増えても工夫することで活用が図られ、新たな交流も生まれます。
- 交流が活発になります。
- 修理などにお金がかかりすぎているのか
- バリアフリーに対応しているのか

### 1 いま起きている“変化”と状況

公共施設が古くなってきています

市の公共施設(建物)の半分以上が築後30年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいます。

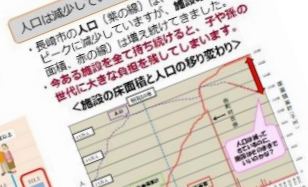
今後、修理や建て替えが進んでいます

人口減少・少子高齢化が進んでいます

長崎市の人口は、2045年には約31万人まで減少すると予測され、それに伴い、施設の利用率も減少していくことが予想されます。「働く世代」の人口が大きく減少して稼収が減少することが予測されます。

今後高齢化が進み、福祉や医療における費用が増えることが予想されます。

このため、公共施設の修理や建て替えにおける費用は限られてまいります。



# かわら版

## ★グループでの話し合いで出された主な意見

グループで話し合っていた内容について、班ごとに発表していただきました。

・1年に1回しか使わない施設でも、その地域には必要な施設がある。

・施設を廃止すると言っても、高齢化が進むと動くことが難しくなるので、公共交通機関を充実してもらわないと困る。

・活性化センターと北部研修センターの厨房(調理室)は1か所にまとめているのでは。

・小学校については、一部で合併をしたばかりだが、子どもの数はこれからも減っていくだろうから、いずれ複式学級の話が持ち上がるだろう。中学校も施設の老朽化が進んでいるので、小中一貫校という考え方もあってよいのでは。

・トイレが和式で使いつらい施設があるので、洋式してもらいたい。

・公共施設を減らしていかなければならないのは、避けて通れないことだが、大型建設事業を進める一方で、地域にある施設を減らしなさいと言われても、わかりましたとは言えない。市民にわかりやすく説明する努力をしてもらいたい。

・施設を減らすのであれば、広い琴海地区では移動は車になるので、駐車スペースの確保を優先的に考えてもらいたい。

・施設に係るコストについては、旧電力から新電力に切り替えることで、電気代を削減できる場合があるので、検討していくべきでは。

・施設の複合化については進めたいと思うが、琴海地区は南北に広く、現在歩いて行ける施設が遠くなる場合があるので、コミュニティバス等の代替手段が必要になる。

・避難できないような遠い場所にある避難所もある。

・使い方が分からない、知らない施設がある。情報開示がなされていないのでは。

・ハード面をまとめるには、移動手段の確保などのソフト面の工夫も必要では。

【講評】(アドバイザー:首都大学東京 都市環境学部 豊岐亮 先生)

●今回の対話では、公共施設のあり方考える際には、施設(建物)のことだけでなく、他の要素も併せて考える必要があるということも、気づいて頂けたのではないかと思います。

●色々な意見、違う意見が出た中で、共通点については市に受け止めてもらえないといけませんし、別の角度で意見が出た所は、是非持ち帰って何でそう思ったのかを考えて頂いて、次回の議論につなげていって頂けるとありがたいです。

次回の対話では...

長崎市から公共施設の基本的な配置の考え方を示したうえで、その考え方に対して、地域にお住まいだからこその実情などを踏まえた、ご意見やアイデア等をお聞かせいただきたいと思います。

第3回 日時: 令和元年9月28日(土) 15:00~17:00

場所: 琴海文化センター 多目的ホール

◆お問い合わせ: 長崎市理財部資産経営室 (☎直通: 095-829-1412)

# 琴海地区の 公共施設の 配置の考え方



# 施設の分類

都市基盤施設 …… 市営住宅など

公用施設 …… 地域センター、消防署など

公園施設 …… 地区公園、近隣公園など

学校 …… 小学校、中学校

その他事務所 …… 倉庫など

市民利用型施設 …… 文化センター、スポーツ施設  
など

# 都市基盤・産業基盤施設

(都市のさまざまな活動を  
支える基盤となる施設  
・産業の振興を図るための施設)

# 琴海赤水ふれあい農園



築年数

築15年

利用者数

32人／年間

自然環境の中で健康的に  
利用しつつ農業への理解  
を深めることができる



現在の施設を  
適正に管理

# 長浦住宅



築年数

築26年

入居戸数

9戸

- ・現在の建物を適正に管理
- ・大規模な改修や建替えが必要となるタイミングで、人口などの状況を踏まえ、規模を検討

# 公用施設

(行政事務執行のための施設)



# 北総合事務所



築年数

築23年

エリアが広域となるまちづくりの支援や、市民生活に密着した土木事業や保健事業など、現場に出て実施する職員の拠点は、引き続き必要



現在の施設を引き続き適正に管理

# 琴海地域センター・長浦事務所

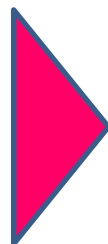


築23年



築49年

身近な手続きや相談  
ができ、地域のまち  
づくりを支援する機能  
は、引き続き必要



現在の施設を引き続  
き適正に管理

# 北消防署琴海出張所



築年数

築7年

全市的に火災・救急  
需要に適正な対応  
ができる位置に配置



現在の施設を引き続  
き適正に管理

# 地域おこし協力隊住宅



築年数

築38年

事業が継続する間は、隊員の住居を確保

# 公園施設

# 公園



健康づくりのための  
機能の導入



防災・避難等災害に  
対応できる機能



魅力的な子どもの  
遊び場の創出



スポーツ施設等の  
利用環境の充実

# 公園



琴海赤水公園



琴海中央公園



琴海南部公園



琴海北部運動公園



小島/浦公園



琴海中部運動公園



やすらぎの小径公園

公園再整備の際には、社会状況の変化を踏まえながら公園毎の施設のあり方や機能分担、統廃合等の検討を行う

**学校**



# 小学校・中学校



**形上小学校**

築年数 築37年

児童数 76人



**長浦小学校**

築年数 築33年

児童数 73人



**村松小学校**

築年数 築42年

児童数 444人



築年数 築54年

生徒数 270人

**琴海中学校**

# その他事務所

# その他事務所



**機能回復訓練室**

築年数

築23年



**長浦倉庫**

築年数

築27年



**琴海ペロン船格納庫**

築年数

築23年

- ・より効率的な行政運営を図るために必要な施設配置へ見直す
- ・用途全体の規模の縮小を図る

# 市民利用型施設

(市民の皆さんが普段の生活の中で利用する施設)

# 小口診療所



築年数

築19年

利用者数

769人／年間

地域医療確保の  
観点から配置



現在の施設を適正  
に管理

# 琴海地区移住型体験施設



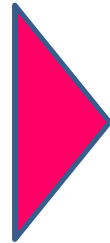
築年数

築38年

利用者数

3人／年間

定住者を増やす  
取り組みは継続



- ・ソフト事業へ転換
- ・施設は将来的に廃止

# スポーツ施設

## 都心部及び都心周辺部

➡ 大規模な大会に利用

かきどまり陸上競技場、市民体育館  
市民総合プールなど

## 各地区からの交通の便が良い場所

➡ 地域における生涯スポーツの推進・スポーツの競技力向上  
琴海南部体育館、東公園コミュニティプールなど



## 地域の皆さんの身近なところ

- ➡
- ・公園のグラウンド
  - ・街区公園等の広場、ふれあいセンター等の軽スポーツ室
  - ・小中学校の体育館、武道場、運動場



# 琴海南部体育館




築年数

築23年

利用者数

49,711人／年間

生涯スポーツの推進  
、競技力向上を図る  
施設は引き続き必要



現在の施設を引き  
続き適正に管理



# 琴海中部運動公園庭球場



経過年数

37年

利用者数※H30

105人／年間

人口が集中する中央  
地域と交通の利便が  
よい周辺地区に集約

今後の利用状況等  
の推移をみながら  
廃止について検討

# 放課後児童クラブ



**こすもすクラブ(村松小学校区)**

築年数 築42年

利用者数 972人



**たんぽぽクラブ(形上小学校区)**

築年数 築20年

利用者数 516人

子どもたちの放課後  
等における安全・安  
心な居場所を確保



小学校の適正配置と合  
わせて事業者に運営の  
統合を働きかけていく

# 『コミュニティ施設』について

## コミュニティ活動に使える施設



児童館(遊戯室)

利用対象  
18歳未満



ふれあいセンター(研修室)

利用対象  
制限なし



老人憩の家(集会室)

利用対象  
60歳以上

使い方は  
どれも

地域の身近な  
活動の場



コミュニティ活動施設

# 『コミュニティ施設』について

## 使い方を見直す効果



昼間

夜間★



子ども専用

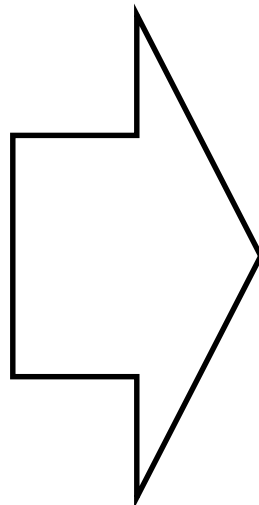
空いている…



高齢者専用

空いている…

使い方を見直したら…



昼間

夜間★



多世代交流ができる



集まりに使える



地域活動の場が増える



# コミュニティ施設

市民に最も身近な場所でサービスを提供する施設は、概ね小学校区に配置

広いスペースや特定の設備が必要な施設は、概ね中学校区に配置

広域的利用施設は、長崎市の都市計画上の地域拠点または交通の便のよい場所に配置

市域全体から利用される施設は、交通の便のよい都心部及び都心周辺部に配置

# コミュニティ活動施設

## 小学校区

身近な場所で気軽に  
立ち寄れる施設

- 居場所
- 話し合いの場
- 活動の場
- 生涯学習の場



## 中学校区

多数の人数による活動  
・行事等のための施設

- 居場所
- 話し合いの場
- 活動の場
- 生涯学習の場

小学校区にある施設  
よいも広いスペース  
・特定の設備

# コミュニティ活動施設

## 中学校区

### 小学校区

- 集会室
- 和室
- 給湯室



- 集会室
- 会議室
- 和室
- 調理室
- 事務室兼図書室

概ね500㎡

# 琴海さざなみ会館

形上地区

築年数

築18年

利用者数

8,804人／年間



- ・地域のみなさんが  
様々な地域活動に利用
- ・近隣に地域活動に  
使える施設がある



地域の皆さんの使い  
やすさなどを踏まえて  
集約を検討



# 琴海北部研修センター

## 形上地区



築年数

築38年

利用者数

4,203人／年間

- ・地域のみなさんが  
様々な地域活動に利用
- ・近隣に地域活動に  
使える施設がある



地域の皆さんの使い  
やすさなどを踏まえて  
集約を検討

# 琴海文化センター

## 長浦地区



築年数

築28年

利用者数

19,352人／年間

・北部には別の広域的  
利用施設がある



将来的に、北部地区で  
1か所配置

# 琴海活性化センター

## 長浦地区

築年数

築16年

利用者数

5,861人／年間



- ・地域のみなさんが  
様々な地域活動に利用
- ・近隣に地域活動に  
使える施設がある



地域の皆さんの使い  
やすさなどを踏まえて  
集約を検討

# 琴海南部文化センター

## 村松地区



築年数

築23年

利用者数

38,896人／年間

- ・地域のみなさんが  
様々な地域活動に利用
- ・近隣に地域活動に  
使える施設がある



地域の皆さんの使い  
やすさなどを踏まえて  
集約を検討

# 琴海しらさぎ会館

村松地区



築年数

築28年

利用者数

13,312人／年間

- ・地域のみなさんが  
様々な地域活動に利用
- ・近隣に地域活動に  
使える施設がある



地域の皆さんの使い  
やすさなどを踏まえて  
集約を検討

# 琴海児童館

村松地区

築年数

築34年

利用者数

16,141人／年間



・満18歳未満の児童  
を対象とした施設



将来的に、子どもの居場所や遊び場について検討する中で役割を見直す

# その他のご意見

- 長崎市の公共施設についても、新電力に切替を行い、電気代を削減する検討を行うべきでは。

## お答え

- ・現在、長崎市と地場企業が出資して新電力会社を設立するための検討を進めています。

設立後は、既存の契約よりも安価での購入が可能となる見込みですが、全公共施設への供給は難しいため、引き続き、コスト削減及び環境面に配慮した購入方法を検討していきたいと考えています。

# その他のご意見

- 避難所が遠くて避難できない。

## お答え

- ・市の基準では、概ね1km以内（徒歩30分程度）を目安に、既存の公共施設（場合により民間施設）を避難所に指定しています。
- ・指定するのに適当な施設そのものが無い地域にあっては、将来的に施設建設などがある場合、避難所への指定を考慮したいと考えています。



施設を造ってきた、  
施設を使ってきた、  
わたしたちが“今”  
見直すことが大切



# ●次回(第3回)の対話●

**第1回**  
**8月17日(土)**

- 施設の現状や見直しの必要性について知る

**第2回**  
**9月28日(土)**

- 市が考える施設の配置の考え方に対して、意見や提案を行う

**第3回**  
**12月14日(土)**

- 第3回までの対話を踏まえて市が検討した結果に対する意見交換
- 対話まとめ

**日時：12月14日(土) 15:00~**

**場所：琴海文化センター**

※配布された資料は、  
第3回もご持参をお願いします。

